

平成27年度 五泉市国語部 活動報告

部長 山川 奈津子

1 研究主題

基礎的・基本的事項を明らかにし、授業研究を通して授業力の向上を図る。

2 研究の概要

6月に指導者を招いて演習を交えた研修、9月に指導案検討会を行った。それを受け、10月に国語部代表による授業研究を行った。

3 研究の実際

(1) 演習 「書くこと」の力をつけるために、どんな指導をすればよいのか

上記のテーマで、五泉市教育委員会指導主事新田見誠様を招いて演習を行った。「書くこと」に焦点をあて、模擬授業形式の研修であった。順序性に注目するために、あらかじめ「初め」「終わり」を提示し、それに合う「中」を検討するというものであった。「中」の部分の観点の明確化が課題であり、単元構成の改善などについて意見が出された。指導者からは、書いて良かったと思えるような授業・単元の工夫と、どの学校にも共通する「書くこと」の課題について、大きな視点でアプローチする必要性についてもお話しいただいた。

(2) 授業研究指導案検討会

- ・ 俳句の中のどの良さに焦点を当て、自分の俳句作りに生かすのかを明確にすることで本時で獲得させたい力が明確になる。
- ・ 後半で俳句を作るのに必要な観点を明確にするために、観点到特化した俳句をクイズ形式で提示することで、自然に着目できるようにしてはどうか。
- ・ 作った俳句を検討するには、共通の土台が必要。同じ景色を取り上げてはどうか。

(3) 授業研究

ア 会場：五泉市立橋田小学校

イ 授業者：五泉市立橋田小学校 教諭 小鳥 亜由美 先生

ウ 単元名：「秋の風景～俳句を作ろう～」教材：『秋の風景』

(光村図書4年)

エ 協議題

・ 作品の一部を考える活動を取り入れる

児童はこの活動に興味をもち意欲的に取り組んでいた。「月」を「目玉焼き」に例えた俳句には共感の声が上がっていた。しかし、比喩の良さを考える時間をとった方が良いと参会者から意見が出された。

・ 同じ題材で俳句を作る

児童に共通の題材として「稲刈り」を取り上げ、写真を提示した。全員が1句以上俳句を作ることができたことから題材選択はよかった。しかし、「比喩を使うことができず時間がかかった。」「ほとんどが擬人法を使っていた。」などの課題が挙げられた。やはり、授業前半で比喩の良さを話し合う必要があったとの意見が出された。



4 成果と課題

演習を通して、「書くこと」の指導において、付けさせたい力を明確にすることの大切さを実感できた。授業研究では、「比喩」という表現の良さに焦点化して俳句の授業を行った。俳句を読み取ることで「比喩」の面白さに気付き、俳句作りに生かしていく姿が見られた。まさに、演習で学んだことを実践・検証することができた。一方、比喩の良さを実感させ活用する点に課題が残った。

今年度は授業研究に指導者をお招きできなかったのが残念であった。